

## 平成23年度 第3回社会福祉学教育FD/ICT活用研究委員会 議事概要

I. 日時 : 平成23年11月21日(月) 13:00~15:00

II. 場所 : 私立大学情報教育協会 事務局 会議室

III. 出席者: 前田委員(ネット) 渡辺委員 井上委員(ネット)  
(事務局) 井端事務局長 森下主幹 松本職員

### IV. 議事概要

1. 中間まとめに対するサイバーFD研究員からの意見を踏まえた教育改善モデルのとりまとめを検討した。

2. 教育改善モデル1について

サイバーFD研究員からの意見をもとに見直しを行い、以下の部分を修正した。

① 日本の将来を見据えた問題解決型思考を訓練すべく国際化、人口転換、災害などへの対応をソーシャルワーカーとしての問題解決する手法を入れるべき。

\* 2.4 ICTを用いた学習内容・方法を修正した。

「学習グループ毎に、例えば貧困ビジネス、災害援助、自殺、国際化等の社会問題の中からテーマを選択し、当事者が抱える問題及び社会環境を分析しその問題の本質を協働的に探究する。」

② 電子教材、実習の観点でのご意見

\* 教育改善モデル1でなく2で取上げる。

③ ICTの機能として情報の収集だけでなく発信や共有も含むべき。

\* 教育改善モデル1の中で、情報の収集だけでなく発信や共有も含んでいる。

④ その他、

ソーシャルワークの支援技術としてICTをとらえ、授業のなかで積極的に位置づけることも重要であり、専門職相互の「連携」、高齢者や介護者の「見守り」「孤立防止」などについて活動紹介、SNSを出発点にした福祉系専門職の自主勉強グループの紹介などをいただいた。今後の委員会の参考にさせていただく。

2. 教育改善モデル2について

サイバーFD研究員からの意見をもとに見直しを行ったが大きな修正の意見は無く、細かな文字、表現を修正した。

3. 今後の検討について

① 授業の点検・評価・改善

今後、この授業改善モデルを点検・評価・改善していくための視点を検討することにした。到達目標を達成する授業内容について、客観評価、学生の自己評価、外部の評価について4年間を通じて、毎年次の区切りで点検・評価し改善する。

教員一人の教育から連携して行う教育、連携・統合型教育の手法、統合型授業などの点検・評価・改善の仕組みを検討する。

② 授業を実現していく教育力の検討を行う。

視点

- ・FDの上でこういう授業を行うために必要な教育力
- ・専門分野として、こういう力が必要（社会福祉に関する教員の特質）
- ・授業をマネジメントする能力
- ・FDによって獲得する能力、組織・個人として行うもの

2006年発行の「大学教育への提言」ファカルティディベロップメントとICT活用の内容を見直し2012年秋にまとめる。

③ 教育改善モデルの再編集

今回の教育改善モデルの具体的なイメージが分かるように再度見直し、資料、図などを加えて編集する。

V. 次回の開催日程

2012年1月とする。